



対戦型と協力型

学級活動の時間を使って、クラスづくりのためのレクを時折行っています。

子どもたちはこの時間が大好きで、度々アンコールが起こるほど。

今回は、その中でも特に盛り上がったゲームを紹介します。

それが、「ぎょうざじゃんけん」です。

通常、ジャンケンは「対戦型」の遊びです。

相手に勝った負けたで盛り上がるのが対戦型の特徴ですが、ややもすると、このタイプのレクばかりをやっていると、子どもたちの仲がかえってこじれる場合があります。

勝った方が過剰に勝ち誇ったり、負けた方がふてくされたり、それによって揉め事がおきたり…なんてことが小学校ではよく起きるからです。

ですから、仲間づくりのレクをする際に大切なのが、適宜「協力型」のレクを入れることです。

その一つが、「ぎょうざじゃんけん」です。

ルールはいたってシンプル。

かならず、三人がひと組になってジャンケンをします。

そして

パー ⇒ 餃子の皮

グー ⇒ 肉

チョキ ⇒ はし

の3つがそろったらクリア。

「いただきます！」の掛け声と共に餃子を食べるジェスチャーをして、次なる対戦相手の所に向かいます。

そして、餃子が何個食べられたかにチャレンジするのです。

ちなみに掛け声は、次のようにしました。

「餃子、餃子、じゃんけん、ホイ！」

尚、3つが揃わなかった場合のあいこのリアクションも教えておきました。

○パーだけが無かった場合⇒「皮がない！！」
○グーだけが無かった場合⇒「肉がない！！」
○チョキだけが無かった場合⇒「はしがない！！」

○パーしかない場合⇒「皮しかない！！」
○グーだけ⇒「肉しかない！！」
○チョキだけ⇒「はししかない！！」

さも残念そうに言ってジャンケンが続くんですが、これがなんとも楽しそうです。

特に何度もあいこが続いたときは、大笑いが起きます。

チームで3つを揃えることを目指す協力型のジャンケンは、「いただきます」の時に不思議と連帯感のようなものが生まれます。

これは、対戦型のレクだけをしていては生まれない空気です。

ある日、この「ぎょうざじゃんけん」が思い切り盛り上がっている姿を見ていた時のことでした。

1回目が終わり、そのままゲームの2度目を続行してもよかったんですが、ピンと閃くものがあったのでその場で試してみることにしました。

別に、料理は餃子だけに限りません。

SOLANの子たちが楽しめるように、ルールはどんどん変えていいたろうと思いついたので、私はゲームを全て英語版にすることにしました。

その名もハンバーガージャンケン。

ゲーム名も英語版にするならば、hamburger challenge となるでしょうか。

ルールは基本的に同じですが、食材等が変わります。

パー ⇒ bread
グー ⇒ meat
チョキ ⇒ cheese

要は、チーズバーガーを作るチャレンジです。

揃った時の掛け声も

「Let's eat! 」

に変えました。

もちろんあいこの掛け声も。

○パーだけが無かった場合⇒「No bread!!」

○グーだけが無かった場合⇒「No meat!!」

○チョコキだけが無かった場合⇒「No cheese!!」

○パーしかない場合⇒「Too much bread!!」

○グーだけ⇒「Too much meat!!」

○チョコキだけ⇒「Too much cheese!!」

ぎょうざジャンケンの時より、知的さが増したのか子どもたちはさらに盛り上がりました。

その様子を後ろで見ていたオリバー先生も大爆笑。

子どもたちに交じって、楽しくレクに興じていました。

その時の様子を通信に書いてくれました。

Watanabe Sensei played a fun Rock-Scissors-Paper variation called the Hamburger Game.

Students played in groups of three to try to make a hamburger together, where rock was meat, scissors were bread and paper was cheese. If they managed to get all three ingredients at once they scored a point, said "let's eat!" and ate their hamburgers. If an ingredient was missing or they all got the same they said "no meat!" or "too much cheese!" and tried again.

Everybody had a lot of fun playing together and speaking lots of English!

最後に確認しました。

「餃子を何個食べましたか？」

「ハンバーガーを何個食べましたか？」

子どもたちはおなかをポンポンと触りながら

「もう食べられなーい！」

ととても楽しそうな様子でした。(文責：オリバー&渡辺)

[1学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)